

アダプト皮膚保護シール

一般情報

- ストーマ周囲の皮膚のしわやくぼみを埋めて平坦にします。
- 皮膚にしっかりと密着、腹壁の動きにも追従し、面板下への排泄物の潜り込みを防ぎます。
- 自由に成型することで、ストーマ装具の密着性を高めます。
- アダプト皮膚保護シールは厚さ 2.3 mm または 4.45mm、アダプト皮膚保護シールスリムは厚さ 2.3 mm をご用意しております。

使用方法

1. 皮膚を洗浄し、清潔で乾いた状態にします。
2. プラスチックトレーから皮膚保護シールを取り出し (図 1)、皮膚保護シールの両面にある剥離紙をはがします (図 2)。
3. 面板を貼付する前に、皮膚保護シールを成形します (図 3)。以下を選択できます:
 - a. 面板の粘着面側に皮膚保護シールを貼る (図 4)
 - b. 皮膚に皮膚保護シールを貼った後、面板を貼る (図 5) 皮膚側、面板側のどちらに貼っても使用できます。
4. フィット感を高めるため、皮膚保護シールを必要に応じて重ね付けすることもできます (図 6)。
5. 皮膚保護シールは装具交換時に、面板と一緒に剥がれます。



1
プラスチックトレーから取り出す



2
両面の剥離紙を剥がす



3
引き伸ばしてフィット感を高める



4
ストーマの形状に合わせて、皮膚保護シールを調整する



5
ストーマに合わせて、皮膚保護シールを貼付する



6
皮膚保護シールを重ね付けすることもできます。

よくある質問

皮膚保護シールに表面と裏面はありますか？

いいえ。どちらの面でも皮膚に貼ることができます。

ストーマの形状が楕円形なのですが、皮膚保護シールを使用できますか？

はい。アダプト皮膚保護シールは簡単に引き伸ばして自由に成型することで、装具の密着性を高めます。

ペーストを使用していたことがあります。ペーストよりも皮膚保護シールのほうがよいですか？

ペーストではなくアダプト皮膚保護シールを使用することには多くの利点があります。患者によっては、ペーストよりも皮膚保護シールのほうが貼りやすく剥がしやすい場合があります。患者様の状況に応じて、使い分けをお願いいたします。

皮膚に炎症があるときに皮膚保護シールを使用できますか？

皮膚に炎症があるとき皮膚保護シールを使用できません。

